

都市再生整備計画(第4回変更)

あみせいぶちく
阿見西部地区

いばらき あみまち
茨城県 阿見町

平成25年 6月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	阿見町	地区名	阿見西部地区	面積	626 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度				

目標 安全・安心で住みよい快適なまちづくり ・交通の利便性や安全性、歩行環境の向上を図り、だれもが住みたくなるような魅力あるまちづくりをめざす。 ・良好な住環境を形成し、市街地としての魅力を高めることで定着人口の増加をめざす。

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 本地区は阿見町の西部に位置し、JR常磐線荒川沖駅や首都圏中央連絡自動車道牛久・阿見ICに近接するなどの立地条件に恵まれた地域であり、住居系が主体の既存市街地と、本郷第一地区土地区画整理区域を中心とした商業及び居住を担う新市街地との融合による調和の取れたまちづくりを進めている地区である。 これまでの本地区は、都市基盤の骨格となる幹線道路が未整備であることから、まちづくりの推進に支障をきたしていたが、平成16年度に着手したまちづくり交付金事業によって新市街地区域の都市計画道路を整備し、道路網の一部を構築する効果で交通機能の向上を図ってきた。 しかし、広域的道路網が確立されていない状況の中、圏央道インターチェンジの開通等に伴う交通量の増加によって、依然幹線道路では渋滞が発生しており、その他の生活道路についても狭小な未整備路線が多いことから、安全性が確保できないなどの交通問題によって、日常的な住民生活に支障をきたしている。また、本地区は居住・商業空間を担う中心市街地の位置付けにありながら、アクセスが弱いことが要因となって、新たな定住の促進や商業施設の充実など、まちづくりの活性化に大きな影響を及ぼしている状況にある。

課題 安全・安心で利便性の高い居住・商業のバランスの取れた街並みを形成し、土地区画整理区域を中心とした更なる人口の定着を促進することが早急に求められている。 ・圏央道の開通等によって交通量が急増している中、広域的道路ネットワークが構築されていないことや歩道未整備区間が多い影響で既存道路での渋滞や交通安全対策、またアクセスが悪いことから土地利用の活性化に支障をきたしている。 ・当地区の活性化を図るため、良好な居住環境の供給など、定住化を促進する施設整備が望まれている。

将来ビジョン(中長期) 【阿見町第5次総合計画】 ・市街地形成 荒川本郷地区は、本町の荒川沖市街地を形成するための核となる地区であり、JR常磐線荒川沖駅や圏央道ICを基点とする道路ネットワークにおいても重要な位置にある。本地区のまちづくりを推進する上でも、広域的な道路ネットワークを構築する観点からも重要な位置付けをもつ都市計画道路荒川沖・寺子線等の都市施設について整備を推進する。また本郷第一地区の宅地利用増進を図るため、都市施設整備を推進し、良好な市街地の形成を目指す。 ・道路、交通体系 東西市街地を連結し、本町の景観を配慮した景観形成道路としての役割を果たす都市軸道路の整備を進める。

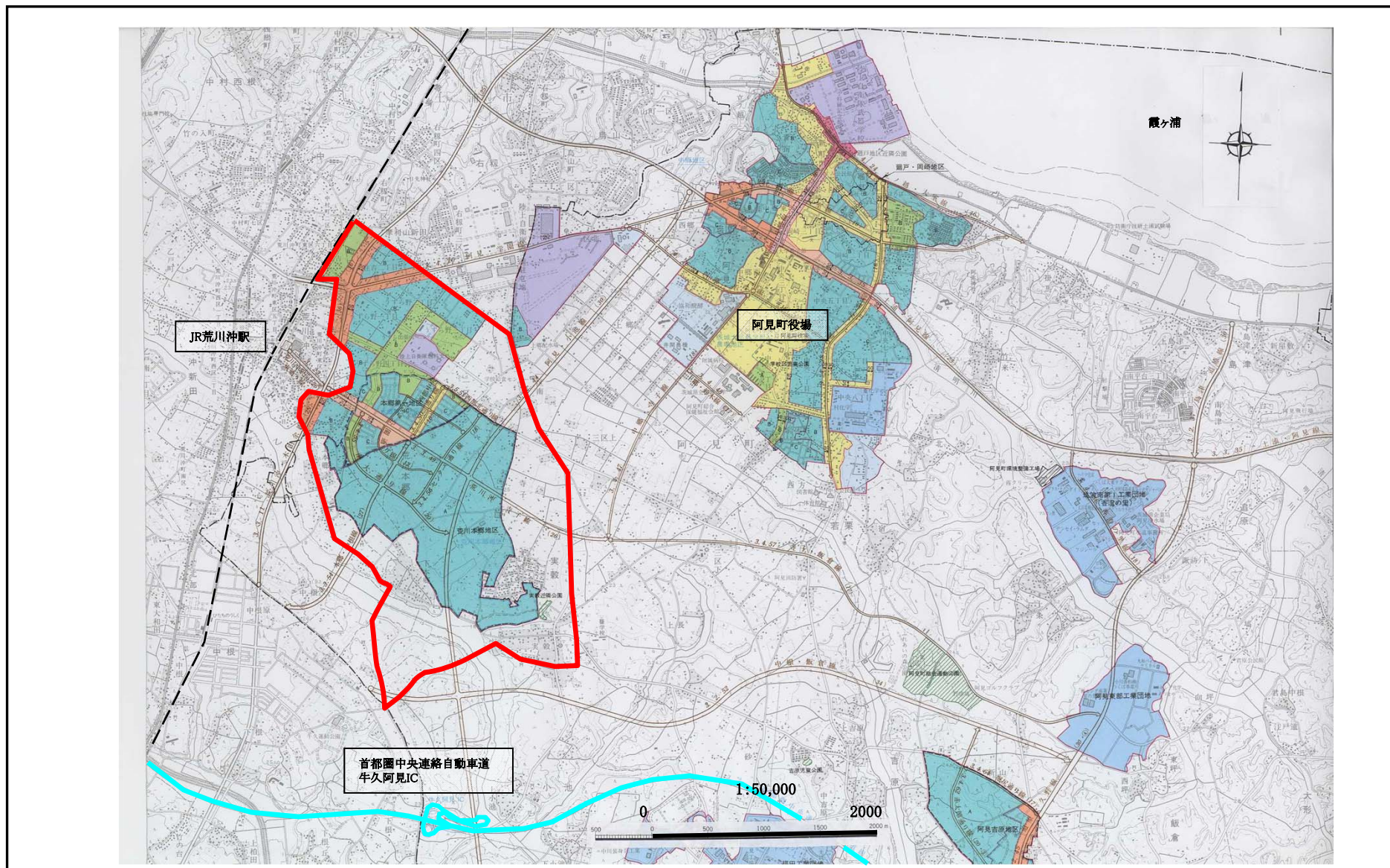
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
渋滞率	混雑度	旧幹線道路(町道第0103号線)の混雑度を計測。	広域的道路網の改善により混雑度の低下を図る。	2.03	H20	1.42	H25
建築戸数	戸	本郷第一土地区画整理地内の住宅新築戸数を計測。	良好な居住環境の形成により地区内の建築戸数増加を図る。	132	H20	290	H25
住環境に関する満足度	%	アンケート調査により居住環境整備に関する満足度を計測。	良好な居住環境整備により住民の満足度向上を図る。	57.9	H20	60.3	H25

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>交通の利便性や安全性、歩行環境の向上による安全で住みよいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域的道路網を構築し、交通混雑の解消やアクセスの強化による快適性・利便性の向上を図る。 ・幹線道路の歩道整備や既存の生活道路を拡幅することにより、歩行者・自転車の安全性の向上を図る。 	<p>○基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路事業 都市計画道路荒川沖・寺子線 ・道路事業 町道第1011号線他18(道路改築) ・道路事業 町道第1154号線他12(道路修繕) ・道路事業 筑見団地内町道(道路修繕) <p>提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活用調査 事業効果分析調査
<p>良好な住環境の形成によるバランスの取れたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理区域を中心とした良好で質の高い都市基盤の構築及び生活道路や都市施設の整備により、商業施設の増進や定着人口の増加を図る。 ・防災性や防犯対策に優れた安全で快適なまちづくりにより、豊かな住民生活の向上を図る。 	<p>○基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路事業 町道第1011号線他18(道路改築) ・道路事業 町道第1154号線他12(道路修繕) ・道路事業 筑見団地町道(道路修繕) ・土地区画整理事業 本郷第一地区 ・高次都市施設 コミュニティセンター駐車場整備事業 <p>○提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業 町界町名地番整理事業 ・地域創造支援事業 公共施設等情報板設置事業 ・地域創造支援事業 防犯カメラ設置事業 ・事業活用調査 事業効果分析調査
<p>その他</p> <p>○良好な街並み形成の推進</p> <p>当地区の核となる都市計画道路荒川沖・寺子線を景観形成道路として指定しており、地域と一体となった良好な街並み形成を誘導するため、景観審議会により沿道景観形成基準を定めていく。また、今後の当地区におけるまちづくりを総合的・計画的に実施していくため荒川本郷地区まちづくり検討委員会を継続的に実施していく。</p>	

都市再生整備計画の区域

阿見西部地区(茨城県 阿見町)	面積	626ha	区域	阿見町荒川沖・荒川本郷・うずら野・実穀の一部
-----------------	----	-------	----	------------------------



阿見西部地区(茨城県阿見町) 整備方針概要図

目標	安全・安心な住みよい快適なまちづくり ・交通の利便性や安全性、歩行環境の向上を図り、だれもが住みたくくなるような魅力あるまちづくりをめざす。 ・良好な住環境を形成し、市街地としての魅力を高めることで定着人口の増加をめざす。	代表的な指標	渋滞率 (混雑度)	2.03 (20年度) → 1.42 (25年度)
	建築戸数 (戸)		132 (20年度) → 290 (25年度)	
	住環境に関する満足度 (%)		57.9 (20年度) → 60.3 (25年度)	

